

## 平成28年度「しがこども体験活動実践交流会」

子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関・団体等を対象に、事例発表や意見交換等をとおしてネットワークを構築し、子どもたちの体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進することを目的として実践交流会を実施しました。

### 【日時】

平成29年2月3日（金）13：20～16：10

### 【会場】

滋賀県庁東館7階大会議室

### 【対象】

- ・「しがこども体験学校」事業実施団体
- ・行政関係者（市町職員、公民館等職員等）
- ・社会教育関係者
- ・学校教育関係者

### 【参加者】

58名



### 【開催日程・内容】

日 程	内 容
13：00	受付
13：20	開会行事 開会あいさつ、日程説明
13：30	事例発表 ①「通学合宿等地域での子どもの体験活動」の取組 発表者 長浜市虎姫公民館 河村 好子 氏 ②「しがこども体験学校」事業実施団体の取組 発表者 CLUB ATTRACTION 田中 洋一 氏
14：20	こども体験活動アピールタイム ※関係機関・団体からの情報発信
14：40	休憩
14：55	グループ討議 ・アイスブレイクをとおして交流 ・グループに分かれて討議・情報交換 ・3グループの発表
16：10	閉会

## 【事例発表】

### ○「通学合宿等地域での子どもの体験活動」の取組

河村様からは、「虎っ子通学合宿」等の取組を中心に、それに関わる地域の学生リーダーの育成について御発表いただきました。地域で育った中高生が主体的に小学生の指導にあたり、行事の企画・運営に携わったりする仕組みについても御説明いただきました。10年来関わっておられる地域の方もおられ、地域で子どもを育てるといふ熱意が伝わってきました。



### ○「しがこども体験学校」事業実施団体の取組

田中様からは、多くの学生ボランティアが主体的に実施する、子どもの体験活動について御発表いただきました。学生の様々なアイデアをいかに実現させ、リーダー育成につなげるかということについては、実際のワークシートを提示していただき、細かなステップを踏んで事業実施に至ることを御説明いただきました。安全面や経理面等を含め、全てを学生に任せておられ、その達成感や充実感が、活動の継続につながると感じました。



## 【アピールタイム】

事前に26の団体から提出いただいたアピールシートを冊子にして配布しました。また、その中から、「におねっと」「大津おやこ劇場」「滋賀県平和祈念館」「琵琶湖カヌーセンター」「SMAP研修会」について、3分間でそれぞれの取組内容などを御紹介いただきました。

## 【グループ討議】

はじめに、「しが『心の冒険』プログラム(SMAP)」を体験していただく中で、アイスブレイクと司会・記録の決定や自己紹介を行いました。

その後、グループごとに決められたテーマをもとに、各団体の取組や悩み等について、討議と情報交換を行っていただきました。学生の方の参加もあり、世代や立場を越えて様々な視点から意見を交流し、有意義な時間を共有していただけました。45分間の討議時間でしたが、話が尽きることなく、熱心に御討議いただきました。

参加者の皆様の様子を拝見し、子どもの体験活動や青少年教育に関わる方々が一堂に会して交流する機会や場の意義と、それを通じて広くネットワークを構築していただくことの重要性を再認識することができました。



参加者のアンケート結果、感想等は別に掲載していますので、御覧ください。